

令和7年度 小金井市立東小学校 第4回学校運営協議会記録

令和8年1月29日
午後2時30分～
会議室

- 出席 14名中13名参加 委員の過半数の出席により本会は成立
- 同席 教職員 5名

1 会長挨拶

- ・ 前回の学校運営協議会から、本日までに学校公開や学習発表会等がございました。その際は、保護者の方が多くいらして、大変盛会でした。本日もよろしく願いいたします。

2 校長挨拶

- ・ 10月の学習発表会では、各教室を活用しながらプレゼンテーションを行いました。学習発表会で他学年に発表をしたり、参観者からの質問に答えたりする取組を通して、児童の伝える力や答える力の伸長が見られました。
- ・ 11月には、研究発表会を行いました。都内外から来校した多くの教育関係者に向けて、本校の研究を発表することができました。
- ・ 学習発表会や研究発表会、道徳授業地区公開講座等を含め、多くのPTAの方やねこのてクラブのボランティアの方に支えていただきました。その節は大変ありがとうございました。
- ・ 本日は学校評価について熟議を行っていきます。よろしく願いいたします。

3 自己評価・学校関係者評価（自己評価まとめ）について



授業変革の推進

- ・ 学習内容を日常生活と結び付ける理由を教えてほしい。
→ 学習内容と日常生活が結び付かず、学んだことを生活に生かす意識や、学習が生活に役立つ実感をもてない児童が都内でも多く見られる。本校においても2年前までは、「学習内容が生活と関連している」と答える児童が6割程度だったが、8割まで向上させることができた。
- ・ 時事的な内容を授業で扱うことはあるのか。
→ 各教科で、時事的なことを扱うことはある。

子どもの権利の尊重

- ・ 児童自身が権利についてどの程度学習しているのかを具体的に知りたい。
 - 6年生社会科で子どもの権利について「子どもオンブズパーソン」の方を招いて学ぶ機会がある。弁護士が児童のもつ権利について具体的に扱っている。
 - 様々な決定プロセスに児童の意見を取り入れていく取組を行っている。全国的に校則に児童の意見を反映させている。
 - 児童は自分たちで決めた決まりについては、他のものと比べると前向きに守ることができる。
 - 運動会等の行事の内容や、学級のルール等を児童と教員と一緒に考えるようにしている。
- ・ 「困ったことがあったら、身近な大人に相談していますか。」の質問項目が、困っていない児童にとって回答しづらい内容であると感じる。
- ・ 困っていない児童も否定的評価につながる回答をした可能性があるため、肯定的数値の低下につながっているのではないか。
 - 次年度は質問の文言を改善していく。
- ・ 相談の相手は大人に限定せず、年齢の近い人でもよいのではないか。
 - 性暴力といった近い年齢の者同士では相談しづらい悩みも関連するため、都では「身近な大人」と表記している。

地域との協働の推進

- ・ まなびポケット未読率の高さに課題を感じる。
 - 学校としても未読が気になっている。未読の家庭に声掛けをするなどの取組を考えている。
- ・ 児童が呼んでほしいと考える人材を活用すると良いと思う。
 - 予算の都合上、今回は都の事業を活用したが、学校は人材を派遣される側なので実現が難しい。
- ・ 児童が地域に貢献する活動があってもよい。

特色ある学校づくり

- ・ 児童のプレゼン能力の向上に成果を感じる。
- ・ プレゼン能力について近隣の学校と比較すると特色が見えやすく、より東小のよさが見えると思う。
 - 他校との比較は相対的に学校を評価することとなるため行えない。
 - 本校は比較的高い水準であると考えている。
- ・ たてわり班活動について高学年の児童が低学年児童に対して気を遣っている様子があるように感じる。高学年がやりたいと考える活動をさせてあげてもよい。
 - 異学年交流ができる貴重な時間であるため、たてわり班活動の運営ができていることを価値づけ、高学年に自己有用感を感じさせていきたい。
- ・ 学習発表会で他学級を教員が見られるような取組にできるとよい。
 - 教員も改善の方向で話がまとまっている。

その他

- ・ 本会において、学校教育目標を児童の実態に沿った形で考えることができたのが良かった。
- 4 学校関係者評価報告書作成について
- ・ 本会で出た意見を基に作成を進める。
- 5 広報について（広報部）
- ・ 学校HPのコミュニティ・スクールの掲載情報を確認
 - ・ 学校HPを一層充実させるための意見をいただきたい。
- 6 地域学校協働活動について（支援部）
- ・ 活動報告については資料のとおりである。
 - ・ 他の団体との連携に力を入れている。今後はPTAを始めとした保護者との連携を深めていきたいと考えている。
 - ・ ベルマークの集計について地域人材と連携をしながら進めていきたいと考えている。
 - ・ 通学路交通安全点検について、地域人材として協力をしている。
 - ・ 連携先を広げ、深めていく予定である。（PTA、ねこのてクラブ等）
- 7 その他
- 【小金井市立東中学校チャレンジクラスについて】
- ・ 不登校児童の新たな進学先である。授業時数の負担が少ない教育課程となっている。
 - ・ 4月からは、近隣学区の東小と南小が入級対象である。
- 【いじめ防止基本方針】
- ・ 小金井市のいじめ防止基本方針を受け、本校でもいじめ防止基本方針を作成している。
 - ・ 次年度は、担任が保護者に伝えていく予定である。
 - ・ 「いじめ防止基本方針」のHP掲載場所を明確にすることで分かりやすくしていく。
- ・ 学校だより1月号で新しい教育目標について伝えた。
 - ・ 学校便りで記載した学校公開の日程を変更する予定である。3月号でお知らせする。
- ※ 次回開催 令和8年2月19日（木） 午後3時30分より
- 8 副会長挨拶
- ・ 学校運営方針について、関係者の立場で皆さんと考えることができ、自分自身が関係者であることを改めて実感しました。次回もよろしくお願いします。